



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



令和7年度

学校魅力化 フォーラム

開催目的

域内の学校の適正規模・適正配置についての検討や、教育活動の充実などによって魅力ある学校づくりを行っている自治体の先進的な取組を発信する。

1/30
(金)

10:00~12:30

オンライン

※ZoomによるWeb会議、YouTubeライブ配信

主な対象者

- 小・中学校の適正規模・適正配置に係る各都道府県・市区町村教育委員会担当者
- 教育関係者
- 各都道府県・市区町村施設整備担当者 等

問合せ先

- 文部科学省 初等中等教育局
初等中等教育企画課 教育制度改革室
【TEL】03-6734-3923
【Email】syokyo@mext.go.jp

登録方法

下記アドレスまたは右二次元コードにアクセスし、登録ください。



- 登録フォーム
- <https://forms.office.com/r/NAZ7DUJKae>

募集締切：2026年1月28日(水)

※参加費は無料です。

※参加登録を完了された方には、登録されたメールアドレス宛に、後日接続方法等の詳細を送信します。



フォーラム概要

- 10:00～10:20
▶ 開会あいさつ・行政説明
- 10:25～12:20
▶ 3自治体の事例発表
▶ 講演
- 12:25～12:30
▶ 閉会あいさつ

2 長野県松本市

自然の魅力あふれる学校で 学びも暮らしも、もっと豊かに

住民票を異動しなければ別の学区の学校に就学することができないという制約を、区域外就学制度の柔軟な活用で緩和し、松本の学校への就学を可能にしたのが松本デュアルスクール(※)制度です。移住も視野に入れた長期滞在も可能であるため、「都会にはない体験的な学び」と「地域で暮らす」という両面を親子で共有でき、二地域居住や移住につながっている事例を紹介します。

1 福島県福島市

学校再編を機に地域を学ぶ ～校訓「歳寒松柏」と「まつらぼ」～

福島市初の義務教育学校として松川地区の小学校4校中学校1校が再編され松陵義務教育学校が開校した経緯と、9年間を見通した系統的な探究学習「まつらぼ」の実践を報告します。適正規模・適正配置第一次実施計画のもと、オール松川で再編が可能になった経緯と、9年間を見通した系統的な探究学習に取り組み、地域理解のもと、課題解決能力をはぐくむ事例を紹介します。

3 山形県高畠町

人材育成を軸とした 官民協働のまちづくり ～日本一を育てるまち～

第2世代交付金を活用し「人材育成を軸とした官民協働のまちづくり～日本一を育てるまち～」をテーマに事業を展開し、その中で県外生徒の交流等による高畠町ならではの教育の確立と魅力化を目的にデュアルスクール(※)に取り組んでいます。

当町では転校の手続きが不要な体験入学による独自仕組みを構築し実施しております。参加した生徒やご家族、学校、地域の反応などを紹介します。

4 講演

総人口減少時代の学校づくりに 求められるもの

少子高齢化に向き合う各地の学校づくりの実践から、地域との協働に基づき教育課題を解決していく方策について展望します。

筑波大学 人間系教育学域 准教授

丹間 康仁 氏

